

2026年4月7日

新宿区長宛て

団体名 認定NPO法人東京盲ろう者友の会
所在地 東京都新宿区岩戸町4番地
(フリガナ)フジシカ カズユキ
代表者氏名 理事長 藤鹿 一之

新宿区協働推進基金助成金交付申請書

新宿区協働推進基金条例施行規則第5条の規定により、下記のとおり助成金の交付を申請します。

記

助成金申請額 金 500,000 円

申請事業の分野 (該当の分野1つだけに をしてください。なお、活動分野が複数の場合は、主要な分野に をしてください。)		
○ 保健・医療・福祉	災害救援	情報化社会
社会教育	地域安全	科学技術
まちづくり	人権擁護・平和	経済活動
観光	国際協力	職業能力開発・雇用機会拡
文化・芸術・スポーツ	男女共同参画	消費者の保護
環境	子どもの健全育成	市民活動支援
そ	の	他

助成事業計画書

団体名	認定 NPO 法人東京盲ろう者友の会
事業名	「盲ろうコミュニケーション・キャンパス」開催事業
事業目的・ 事業概要	<p>< 事業目的 ></p> <p>新宿区民や区内の学生に対し、盲ろう者の実態や支援方法について理解を深める体験型イベントを開催することで、区内に潜在する未把握の盲ろう者を支援に繋ぐネットワークと、区民による継続的な支援体制を構築する。</p>
	<p>< 事業概要 ></p> <p>新宿区内の2会場（牛込筆筒区民ホール、東京都盲ろう者支援センター）を活用し、イベント「盲ろうコミュニケーション・キャンパス」を開催する。映画上映や講演・セミナー、指点字・触手話の体験プログラム等を実施する。</p>
地域課題・ 社会的課題	<p>視覚と聴覚の両方に障害を併せ持つ「盲ろう者」は、情報入手や移動、コミュニケーションに大きな困難を抱えている。当会が新宿区岩戸町で運営する「東京都盲ろう者支援センター」は都内唯一の盲ろう者専門の支援機関であるが、先行調査によると区内に26名の盲ろう者がいるにもかかわらず、センターの支援に繋がっている盲ろうの区民は3名に留まっており、多くが孤立していると推測される。また、盲ろう者の移動とコミュニケーションを支える通訳・介助者は都内に458名いるが、新宿区の登録者はわずか8名と極めて少ない。</p> <p>このように、新宿区内において盲ろう者やその支援に関する認知が著しく不足している。さらに、区内には大学20校、高校12校、中学校10校と多くの教育機関が設置されているにもかかわらず、支援者の担い手となる若年層への啓発機会が不足している現状がある。</p>
課題解決のための取組	<p>課題解決のため、新宿区民や区内の教育機関に在籍する学生・生徒、区内の福祉事業所職員等を対象に、盲ろうに対する理解を深める体験型イベント「盲ろうコミュニケーション・キャンパス」を開催する。牛込筆筒区民ホールにおいて、映画「もうろうをいきる」を上映するとともに、東京都盲ろう者支援センターでのコミュニケーション体験や盲ろう疑似体験等を連動させることで、参加者が盲ろうの世界を「自分ごと」として体感し、当事者と直接交流できる実践的な学びの場を創出する。また、SNS（ショート動画等）を活用した広報を行うことで、若年層の積極的な参加を促し、支援への心理的ハードルを下げる。</p>

<p>先駆性・専門性</p>	<p>当会は、盲ろう者の支援に関する長年の実績を有し、東京都からの委託により、「東京都盲ろう者支援センター」を運営しており、高度な専門性を有している。2026年2月に独立行政法人福祉医療機構の助成を受け、「盲ろうコミュニケーション・キャンパス」を実施した結果、若年層や一般市民など約300名を集め、大きな意識変容をもたらすことに成功した。本事業は、そこで培われた「映画や講演による感情への訴えかけ」と「当事者との直接的な交流体験」を組み合わせるといふ当会独自のノウハウを地域に還元し、区民を支援者へと導く先駆的な啓発モデルである。</p>
<p>具体的な活動内容 (イベントが複数ある場合は、こちらのページを複写して作成してください)</p>	<p style="text-align: center;">イベント(会議)の開催予定等</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>1. イベント(会議)名: 盲ろうコミュニケーション・キャンパス</p> <p>2. 活動内容: 映画上映、盲ろう者とのコミュニケーション体験、盲ろう疑似体験、講演・セミナー等</p> <p>3. 実施期間、回数: 2027年2月、1回</p> <p>4. 実施場所: (A会場)新宿区立牛込笹塚区民ホール、(B会場)東京都盲ろう者支援センター</p> <p>5. 周知(募集)方法、期間: チラシ、当会WEBサイト、SNS</p> <p>6. 対象者・定員数: 区民、区内在学の若年層、区内福祉事業所の職員、その他一般参加者、300名</p> <p>7. 人員・スタッフ数 団体構成員(24)名 講師等(12)名 アルバイト(0)名 ボランティア(0)名</p> <p>8. 安全対策等: 盲ろう者や疑似体験参加者の安全確保のため、誘導・見守りを行う人員を適切に配置する。</p> <p style="text-align: center;">イベント(会議)の開催予定等</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/>

	<p>1. イベント(会議)名:()</p> <p>2. 活動内容:</p> <p>3. 実施期間、回数:</p> <p>4. 実施場所:</p> <p>5. 周知(募集)方法、期間:</p> <p>6. 対象者・定員数:</p> <p>7. 人員・スタッフ数 団体構成員()名 講師等()名 アルバイト()名 ボランティア()名</p> <p>8. 安全対策等:</p>
<p>期待される効果</p>	<p>ア 区民や地域社会への成果・効果</p> <p>本事業により、新宿区民の盲ろうに対する認知度と理解が飛躍的に向上する。区民が盲ろう者の困難やコミュニケーション方法を学ぶことで、地域で孤立している未把握の盲ろう者を適切な支援へと繋ぐ「気づきのネットワーク」が形成される。また、区内で通訳・介助者として登録する区民が増え、「区内の盲ろう者を区民が支える」という地域完結型の共生社会の土台が築かれる。さらに、多数の学生が参加することで、若年層のDEI(多様性・公平性・包摂性)意識が醸成され、将来にわたる福祉人材の確保と地域力向上に大きく寄与する。</p> <p>イ 現状や課題に対する成果・効果</p> <p>区民への周知が進むことで、区内で未把握となっている約20名の盲ろう者が支援センターと繋がり、孤立解消と適切な支援の提供が実現する。同時に、現状でわずか8名しかいない区内の通訳・介助者の新規確保や若年層の担い手の発掘に繋がり、圧倒的な支援人材不足という深刻な構造的課題の解決に向けた確実な一歩となる。</p>
<p>今後の展望</p>	<p>本事業を単発で終わらせず、年1回の恒例イベントとして新宿区内で定着させ、区民や学生が毎年必ず盲ろうの世界と出会える「入り口」を維持・発展させる。イベントで関心を持った区民や学生、関係者を、「通訳・介助者養成講</p>

	<p>習会」へスムーズに誘導する一貫した仕組みを強化し、継続的な人材育成に努める。将来的には、行政や区内の豊富な教育機関、福祉機関とも連携を深め、持続可能な盲ろう者支援の「新宿区モデル」を確立したい。</p>
--	--

過去にこの助成を受けた実績	助成年度 () 事業名 ()
	助成年度 () 事業名 ()
	助成年度 () 事業名 ()
この事業に対する他の助成の有無 (申請中のものを含む)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>
	<p>有の場合は、助成名称(団体)及び助成額</p> <p>助成名(団体名):</p> <p>助成額: 円</p> <p>新宿区の他の助成制度からの助成が決定した場合には、本助成金は受けられません。新宿区以外の団体からの助成金がある場合には、その金額を差し引いた額が本助成額になります。本助成金への申請後に、同事業で新宿区外の補助金へ申請される際は、必ずご相談ください。</p>

収支予算書

費 目		予 算 額	内 訳
支 出 区 分	①使用料及び賃借料	203,300 円	牛込筆筒区民ホール（午前・午後／土日祝） 48,900円 同ホール楽屋2部屋（午前・午後／土日祝） 4,400円 映画貸出料（300名×500円） 150,000円
	②消耗品及び印刷費	0 円	
	③委託費	414,241 円	各種ツールデザインおよび印刷費 214,192円 特設Webサイト制作費 88,000円 管理費 30,219円 SNS(Meta) 広告費（11日分） 81,830円
	④講師謝礼	116,000 円	講演通訳・介助者謝金（1.5時間×2000円×2名） 6,000円 コミ体験通訳・介助者謝金（4時間×2000円×7名） 56,000円 手話通訳者謝礼（7時間×2000円×3名） 42,000円 交通費（1000円×12名） 12,000円
	⑤その他謝礼	0 円	
	⑥交通費	0 円	
	⑦保険料	5,000 円	イベント保険 5,000円（850名まで）
	⑧その他諸経費	27,000 円	チラシ郵送料(100か所×270円) 27,000円
	⑨人件費	255,180 円	※下記「事業費」の25%以内 (255,180) 団体構成員（事前準備）の給与（7時間×5日×2391円×4名） 334,740円 団体構成員（当日運営）給与（7時間×2082円×12名） 174,888円 ※509,628円のうち、254,448円は助成対象外事業費へ
	事業費（①から⑨の合計）	1,020,721 円	
	⑩ファンドレイジングに関する経費	0 円	※事業費の5%以内 (51,036)
	⑪助成対象経費	1,020,721 円	
⑫助成対象外経費	354,148 円	人件費254,448円（助成対象外分） 講演講師（団体構成員）謝金（15700円×1名） 15,700円 コミ体験講師（団体構成員）謝金（4時間×3000円×7名） 84,000円	
事業総額	1,374,869 円		

内 容		予 算 額	積算根拠（内訳）
収 入 区 分	㊦ 事業収入 （参加料、資料代等）	0 円	
	㊧ 寄附金	0 円	
	㊨ 補助金等収入	0 円	
	㊩ 協働推進基金助成金	500,000 円	助成金申請額 上限は50万円 「⑩助成対象経費」の2/3 ※千円未満切り捨て
	㊪ 団体負担金	874,869 円	
	収入総額	1,374,869 円	